

EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド

この章では EWI を無料音楽制作ソフトウェア MPC Beats に接続した際に必要となる設定方法を解説します。

* インストール方法については前章をご参照ください。

MPC Beats を使って付属のソフトウェア音源を演奏する前に、EWI の信号を MPC Beats で取り扱えるようにする設定が必要になります。様々な設定項目がありますが、基本的な演奏に必要な設定は限られていますので、まずはこの章の内容を参考に自身の PC の設定を行っていきましょう。解説する操作については、次ページの操作画面をご覧ください。

MPC Beats 各設定方法

- 6-1 EWI 本体の設定
- 6-2 オーディオ設定
- 6-3 MIDI/SYNC 設定

EWI を
PC で
楽しむ



6-1 EWI 本体の設定

EWI の信号を MPC Beats が取り扱えるように EWI の設定を変更します。EWI Solo/5000 の場合は、EWI エディターを開いて "Breath" タブの "CC Send" の "Enable" をクリックして有効 (赤点灯) にし、その下の "CC Number" のスライダーを使って「7」に変更します。次に画面左下の Lock Velocity をクリックして有効にし (赤点灯) スライダーを一番右側に設定します。この操作をすることで外部音源を演奏するための演奏情報を追加で出力できるようになります。

6-2 オーディオ設定

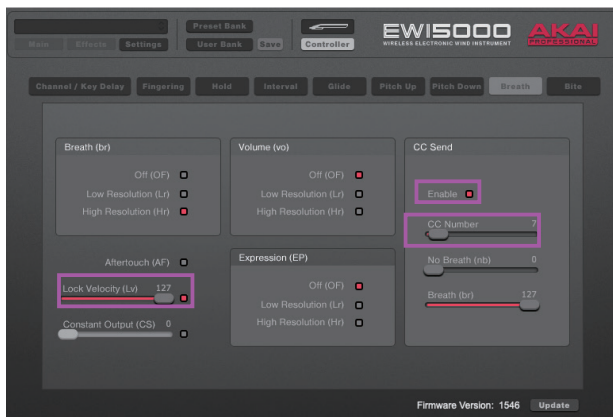
EWI の設定が完了したら次に MPC Beats を起動します。起動後 "Preference" を開いて設定を行います。まずは、MPC Beats の音に関する設定を行う "Audio" タブを開きます。"Audio" タブでは Output、Sample Rate、Audio Buffer Size の項目のみを設定します。Output は MPC Beats の音をどこから出力するかを設定します。インターフェースを使用している場合にはそのインターフェース名を選択してください。Sample Rate は音質に関連する項目で数値が大きいほど音質が良くなります。デフォルトでは CD と同等の 44100Hz になっています。演奏を楽しむ分には 44100Hz から変更する必要はあり

ません。最後にバッファサイズ (Audio Buffer Size) の設定を行います。この設定は、数値が低いほど遅延の少ない演奏が可能ですが、数値を下げ過ぎると PC への負荷が高くなり出力にノイズが発生する可能性があります。目安として 64 ~ 256 の数値で調整することをおすすめします。

6-3 MIDI/SYNC 設定

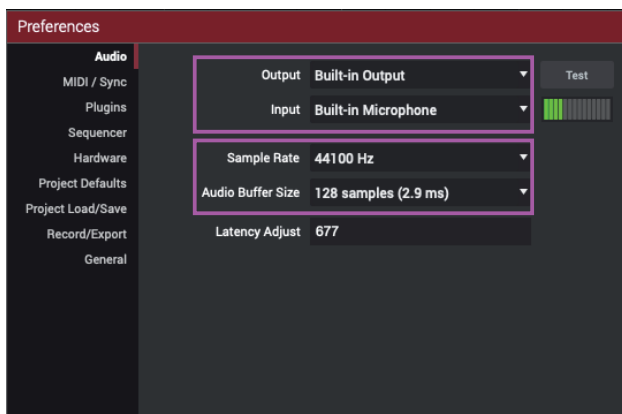
EWI と MPC Beats 間での演奏情報のやり取りを有効にするため MIDI/SYNC の項目で設定します。この画面の一番上に表示されている Input Ports の設定のみを行います。EWI が正しく接続されていると Input Ports に機種名が表示されます。(4000s の場合は MIDI インターフェースの機種名) 機種名の横に表示されている "MASTER"、"CONTROL"、"TRACK" の 3 つを有効にすることで設定が完了します。(有効時点灯) ここまでの設定を行った後にソフトウェアシンセを起動します。これで EWI を使ってソフトウェアシンセを演奏することができます。

▼ EWI 5000 エディターでの Breath 設定



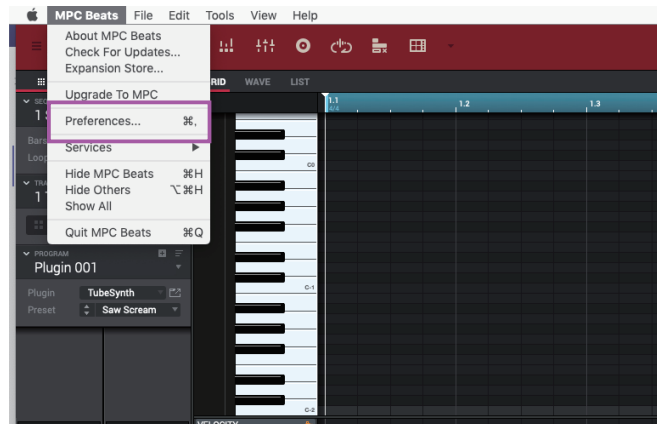
▲ "Breath" タブを選択し CC Send の Enable にチェックを入れ有効にします。その下の CC Number をスライダを使って 7 番に設定します。左下の Lock Velocity にもチェックを入れ有効にします。スライダは一番右の 127 になるように設定してください。

▼ MPC Beats オーディオ設定



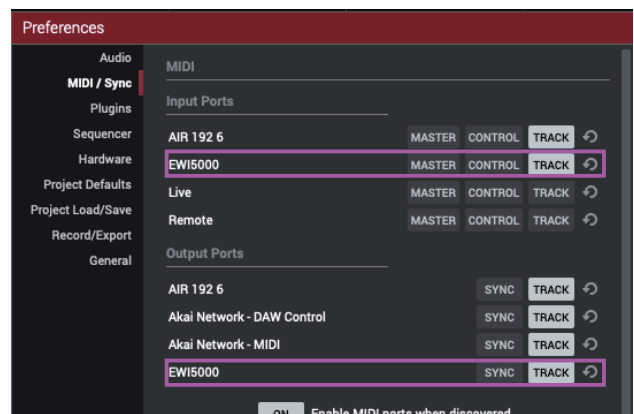
▲ "Audio" タブを選択し "Output" と "Input" を設定します。必要に応じて音質に関連する Sample Rate や遅延に関連する Audio Buffer Size を設定します。

▼ MPC Beats の Preferences 選択



▲ Preferences を開きます。Mac の場合にはメニューバーの "MPC Beats" から、Windows の場合には、"≡" をクリックすると Preference が表示されるのでそれをクリックします。

▼ MPC Beats MIDI/Sync 設定



▲ "MIDI/ Sync" タブを選択し EWI との接続を設定します。Input Ports 接続した EWI(4000S の場合はインターフェース名) が表示されていることを確認し、表示されている MASTER・CONTROL・TRACK の 3 つを有効 (明るいグレー) にして設定完了です。

COLUMN

『Windows でオーディオ・インターフェースを使わない場合』

Windows でコンピュータ内蔵 (付属) のスピーカを使用する場合、発音遅延 (レイテンシー) が大きくなります。この問題は汎用の ASIO ドライバ (ASIO4ALL など) を使うことである程度改善が可能です。このドライバをインストールすることでバッファサイズの変更をすることが可能になります。インストールや設定方法については、下記のページで詳しく解説をしていますのでご参照ください。 [<http://ewi.akai-pro.jp/ewiusb/data/faq.php>]

次回は MPC Beats に付属しているソフトウェア音源の使用方法和 EWI でソフトウェア音源を効果的に演奏できるようにする設定方法をご紹介します。